



柳幸典つなぎプロジェクト Monologue and Dialogue

「柳幸典つなぎプロジェクト」は2008年から続く「住民参画型アートプロジェクト」の一環として、2021年のつなぎ美術館開館20周年を記念し、2019年から3年かけて取り組むプロジェクトです。柳幸典は、現代社会がはらむ諸問題にユーモアを交えながらも正面から向き合う作品をつくり続けるアーティストとして、世界中で高い評価を得ています。「柳幸典つなぎプロジェクト」の2年目の成果展となる本展では、モノログ（独白）とダイアログ（対話）によって生み出される柳幸典ならではの地域の未来像を展示します。また、関連プログラムのトークセッションでは近年、関心が高まっている公共空間における裸像をめぐる問題を柳幸典が2人のゲストとともに論じます。

期間 9月19日(土)～11月23日(月・祝)

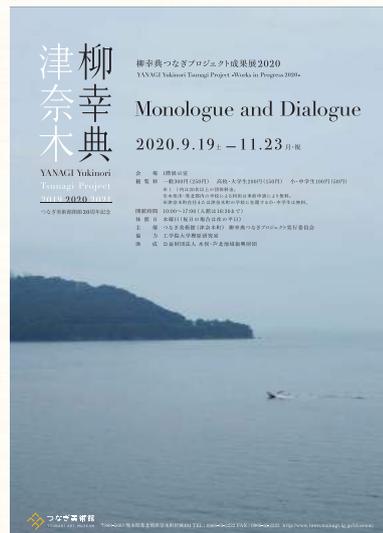
観覧料 一般300円、高・大学生200円、小・中学生100円
(町内の小・中学生は無料)

場所 つなぎ美術館1階展示室

関連プログラム

トークセッション「男と女とハダカとアート」

日時 11月15日(日) 14:00～15:30 小田原のどか(彫刻家/彫刻研究者)
場所 つなぎ文化センター モデレーター 楠本 智郎(つなぎ美術館学芸員)
ゲスト 定員 100人(申込不要・当日先着順)
柳幸典(現代美術家) 参加費 無料
木下直之(美術史研究者/静岡県立 ※当日はマスク着用、検温、手指消毒、
美術館館長) 健康チェックシートの記入をお願いします。



津奈木のメダカ・ドジョウ 目撃情報募集中!

来秋、旧赤崎小に現代美術家・柳幸典の屋外作品が誕生します。現在、作品で使用するメダカやドジョウの目撃情報と植物(ミントやハーブなど)を自宅で育ててくれる人を募集しています。詳しくは美術館までお問い合わせください。



メダカ



ドジョウ

つなぎ美術館にご来館する人へ

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、次のルールを守ってください。

- ・マスクを着用し、入館前は手指を消毒してください。
- ・入館される人は調査票への記入をお願いします。
- ・館内では他の来館者から1m以上離れてください。
- ・混雑を避けるため入館制限を行う場合があります。
- 以下の人は入館をお断りします。
- ・新型コロナウイルス感染症の人。
- ・同症を疑われる症状がある人。
- ・同症の人や同症を疑われる症状が家族にいる人。

つなぎ美術館 〒869-5603 熊本県葦北郡津奈木町大字岩城494 ☎0966-61-2222 FAX 0966-61-2223

開館時間 10:00～17:00(入館は16:30まで) ※モノレールは当面の間運休。

休館日 水曜日(祝日の場合は翌日)

スマートフォンなら「マチイロ」

「広報つなぎ」をいつでもどこでも読むことができる無料アプリです。QRコードを読み取り簡単な登録を済ませてください。

※アプリのダウンロードや登録は無料、通信料は利用者負担。



QRコード

今月の特集は「アーティスト・イン・レジデンス(滞在型制作)」。町内で滞在型制作をした画家の皆さんのアトに對するこだわりや津奈木町での思い出など、多岐にわたり取材しました。また、ワークショップやイベントなどを通じて住民と楽しそうに交流する姿が印象的でした。来月5日(土)からつなぎ美術館で展覧会が開かれますので、6人のこれまでの軌跡を見に来てください。

(田)

編集後記